


令和5年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	こばやし かずき		
氏名	小林 一樹		
所属・役職	信州大学 学術研究院（工学系） 教授 信州大学 先鋭領域融合研究群 社会基盤研究所 AI・ロボティクス部門 部門長		
活動拠点	長野県長野市		
略歴	長野県長野市出身。 1998 年国立長野工業高等専門学校卒業。 2000 年茨城大学卒業。 2002 年同大学院修了。 2006 年国立総合研究大学院大学修了。博士（情報学）。 同年関西学院大学博士研究員。 2008 年信州大学助教。 2013 年同大学准教授，2021 年より教授。		
地域情報化の 専門分野・技術	人工物とのコミュニケーションデザインに関する研究と，IoT や ICT といった情報技術を用いたフィールド情報学に関する研究に取り組んでいます。 人工物とのコミュニケーションデザインに関する研究では，認知科学や心理学，人工知能に関する研究分野において，人間とロボットやソフトウェアとの間でやりとりされる情報とその処理過程を適切にデザインし，人間と人工物との円滑な意思疎通の実現を目指しています。 また，フィールド情報学に関する研究では，農園などのフィールドで継続的に情報を収集し，データに基づく科学的で効率的な農業の実現を目指して研究を進めています。		
専門分野	AI 活用 農林水産業 スマートシティ		
自治体向けメッセージ	IoT によって事象の客観化が実現できると考えています。これまで感覚的に捉えていたことを数値化することで，様々なことを検証可能な形式にできます。情報技術を用いて，身近な出来事を客観的に見ながら問題解決を行うプロセスを通して，新しい仕組みをはじめたり，維持したりするために，自由な発想のもとで一緒に取り組んで頂けるのであれば，お役に立てると思います。		
関連サイト	http://www.cs.shinshu-u.ac.jp/~kby/		
地域情報化に関する実績	これまでの 経験業務・ 研究活動	2006 年～2008 年 マニュアルフリーマシンに関する研究（人工知能分野）に従事。デバイスの機能を自然に気づかせる手法に関して国際会議 SCIS-ISIS Session Best Presentation 賞受賞（2006 年 9 月）。	

	<p>2008 年～2013 年 農園モニタリング（農業 ICT 分野）と、マニュアルなしで操作できるデバイス開発（人工知能分野）に関する研究に従事。高精細定点観測画像システムに関する研究で日本知能情報ファジィ学会 奨励賞受賞（2012 年 9 月）</p> <p>2013 年～現在 農園モニタリングとデータ可視化（農業 ICT 分野）と情報通知エージェント（人工知能分野）に関する研究に従事。作物生育比較システムに関する研究論文で農業情報学会 論文賞受賞（2014 年 5 月）。</p> <p>2021 年 6 月：第 35 回人工知能学会全国大会 チュートリアル「農業と AI～農業研究の面白さと難しさ～」にてフィールドモニタリングによる農業データ収集と活用について講演</p>
<p>これまでに 関与した地 域情報化に 関するプロ ジェクト</p>	<p>2010 年～2014 年：須坂市グリーン農業研究会 技術顧問 2011 年～2012 年：須坂市スマートコミュニティ事業化委員会 委員 2012 年～2013 年：須坂市スマートファーム推進事業ワークショップ（専門部会）委員 2013 年～2014 年：須坂市スマートファーム推進事業協議会及び須坂市スマートファーム推進事業ワークショップ 委員 2014 年～2015 年：スマートアグリソーラー事業化調査事業 検討委員 2014 年～現在：信州大学 食・農産業”の先端学際研究会（FAID 先端学際研究会） 会員 2015 年～現在：丹後・与謝野町 新しい農業モデル確立協議会 委員 2016 年～2017 年 2 月：長野県飯綱町 ICT を活用した最先端農業技術研究に関する実証実験事業, ICT 地域マネージャー 2018 年 2 月：地域 IoT 実装推進セミナー2018in 広島にて講演 2019 年 8 月～現在：信州大学 食・農産業”の先端学際研究会（FAID 先端学際研究会） 理事長 2020 年 4 月～現在：上田市地域情報化推進委員会 委員長 2021 年 4 月～現在：長野市スマート農業推進協議 委員</p>